

令和6年度

定時総会議案書

◇ とき 令和6年5月27日(月)

◇ ところ 守山市民ホール小ホール

公益社団法人 守山市シルバー人材センター

※【最優秀賞】

「 高齢者 勘と経験過信せず

初心に戻り安全作業 」

田中吉彦 (吉身班)

☆【優秀賞】

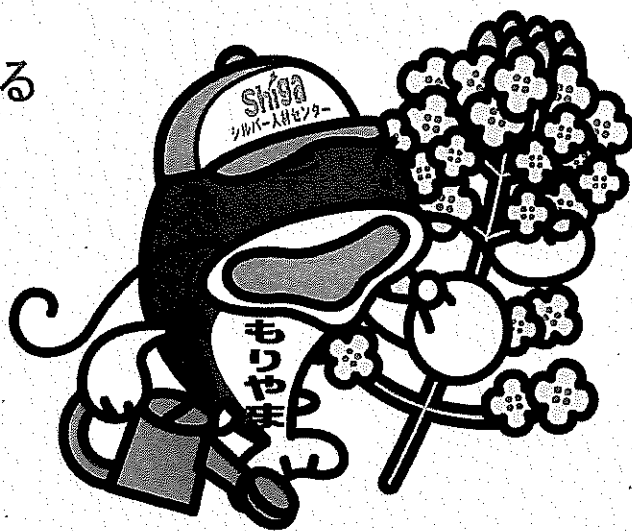
「 気のゆるみ 油断と自信が 事故のもと 」

上杉 孝 (小津班)

「 慣れた作業に潜む危険 互いに目くばり 声かけを！ 」

東 初美 (河西班)

笑顔をとどける



令和6年度 定時総会次第

開 会

- 1 開 会
- 2 理事長挨拶
- 3 来賓祝辞
- 4 表 彰 表彰要綱に定める被表彰者表彰
- 5 講 演 「特殊詐欺犯罪の防止について」 守山警察署
終了後 滋賀県警察音楽隊演奏

【 休 憩 】

定 時 総 会

- 1 資格審査報告
- 2 議長選出
- 3 議事録署名人選出

- 4 議 事
議第1号 令和5年度事業報告について
議第2号 令和5年度収支決算について
監査報告
議第3号 公益社団法人守山市シルバー人材センター会費規程の一部改
正について
- 5 報 告
報告第1号 令和5年度補正予算について
報告第2号 令和6年度事業計画について
報告第3号 令和6年度収支予算について

- 6 議長退任
- 7 安全標語入選者表彰
- 8 安全宣言
- 9 副理事長挨拶
- 10 閉 会

目 次

令和5年度事業報告について（議第1号）

1 概 況	2
2 会員の現況	7
3 事業活動概要	8
4 事業実績	14

令和5年度収支決算について（議第2号）

1 正味財産増減計算書	16
2 正味財産増減計算書内訳書	18
3 貸借対照表	20
4 財産目録	21
5 財務諸表に対する注記	22

監査報告書	23
-------	----

公益社団法人守山市シルバー人材センター会費規程の一部改正について （議第3号）	24
--	----

令和5年度補正予算について（報告第1号）	26
----------------------	----

令和6年度事業計画について（報告第2号）	29
----------------------	----

令和6年度収支予算について（報告第3号）	34
----------------------	----

令和6年度被表彰者一覧	37
-------------	----

安全宣言	38
------	----

議第1号

令和5年度事業報告について

上記の議案を提出する。

令和6年5月27日

公益社団法人 守山市シルバー人材センター
理事長 川那辺 孝 蔵

令和5年度

〔 事業報告 〕

1 概 況

2 会員の現況

3 事業活動概要

4 事業実績

1 概 況

令和5年度の日本経済を取り巻く環境は、中東情勢やウクライナ情勢が緊迫する中、堅調な米国経済により大幅な円安が進行しました。賃上げや価格転嫁が加速したものの物価高に賃上げが追い付かず実質賃金は前年比マイナス圏で推移しました。企業の雇用や賃金は上昇したものの設備投資の再拡大にはつながりませんでした。そうした中で、インバウンド需要の大幅な回復や半導体不足が解消した自動車の生産回復等が景気の下支えをしました。

このような状況の中、令和5年10月には「適格請求書等保存（インボイス制度）」が導入されました。このことは、シルバーの業務運営に大きな影響を及ぼすため、国においても新たな契約方法の提案などが行われました。またフリーランス新法も成立し、法律の施行が予定されている令和6年秋以降は、請負で働く会員の皆様に就業条件の明示を行うことが求められて、それに伴う多くの事務処理を効率的に進められるよう準備を行いました。

まず本年度の契約実績については、請負においてはほぼ前年度並みに推移し、公共は微増となり、民間は、材料費の減額により微減となりました。派遣においては、主に企業誘致に伴う大規模な埋蔵文化財の発掘調査が継続して行われたことにより契約実績が増加しました。

一方、会員数については、人手不足感が強まる中、60代後半のシニア層も人材確保されるようになり60代の入会者は引き続き減少しています。全国的に男性会員は減少し、女性会員は増加という傾向になっており、当センターも同様に推移しています。

当センターにおいては、1月以降に会員紹介等により入会者が増加し、昨年度末を14人上回る結果となりました。

会員数の増加に向けては、総務、広報、女性部会が中心に検討を行い、アンケート調査や広報記事の反応を踏まえ、会員として在籍するモチベーションは、就業のみではなく各種の講習会での学びや会員同士のコミュニケーションが重要であるという共通認識を持つことができ、今後の取組みの方向性を見出すことができました。

こうした中で、剪定や除草の新規就業者についても少数ですが入会に繋がりました。

次に、安全成績についてですが、全国的に剪定作業での傷害事故や機械刈除草での飛石による賠償責任事故が多発していることから、2月には全国シルバー人材センター事業協会主催によりオンラインによる安全就業指導員会議が開催され安全委員や機械刈班長等に参加を求めました。安全作業の基本から事例発表が行われ、「安全はすべてに優先する」「安全無くして就業なし」を基本に、高齢化が進むなかで、会員自身がまずは健康管理と安全就業の意識をもつこと、組織的には安全・安心の意識向上に取組み事業推進するよう指導がありました。事例発表等を参考に安全委員会や班会議で取組内容を検討していきます。

最後に、安定した事務局体制を目指して、フリーランス新法施行に伴う事務の増大やインボイス制度による税負担の増加などに対応するため、事務の効率化と来年度に向けた財源確保を進め執行体制の強化を図りました。また、今後を見据え引き続き令和6年度に職員採用を行います。

(1) 就業機会の拡大

契約額は、365,873千円と中期計画の目標数値339,000千円を26,873千円上回りました。前年度比で約15,000千円余増額し、過去最高額となりました。

請負業務においては、令和4年度のような大型案件の新規受注はなく公共、民間ともほぼ前年度並みの受注水準を保ちました。

公共発注については賃金単価や諸経費上昇分にかかる増加、民間発注においては、材料費が減額しており、これは昨年度まで地球市民の森において高額なレンタル機械を計上していたが、経費比較により購入し固定資産計上により減価償却を行ったことにより契約金額に減額が発生したものです。

請負の基幹業務である除草作業においては、人員確保が困難になってきており従来の受注箇所の対応が出来ないことも生じており、共同作業への参加者の減少と併せ契約件数や就業人員の減少に繋がっています。

一方、派遣においてはコロナ禍により一旦減少したものの企業の人手不足もあり順調に契約が増加しているのに加え、市内において企業誘致にともなう埋蔵文化財の発掘補助業務が継続して発注されたことにより契約額、就業人員とも大きく伸びました。

① 就業ニーズを把握するため「会員就業希望調査」の実施

② 指定管理者施設「もりやま芦刈園」の管理

ア 入園者数

入園料徴収期間 令和5年6月1日(木)～6月30日(金)

28,060人(前年度24,230人)3,830人増

イ あじさいフェアー 絵画・写真コンテスト開催

コロナ禍前と同様の形で開園しました。ただし来園者が密集するフェアー等イベントについては、ピーク時の土日開催は滞在時間が延び周辺に交通渋滞を引き起こすことが懸念されたことから平日開催としました。結果、入園者数・入園料収入とも過去最高となりました。

③ 高齢者活躍人材育成事業の実施

ア 毎週火曜日にハローワーク草津にて、シニアセミナーの開催 47回

イ 地域ITサポート支援員養成講座を8日間開催

(2) 会員数の拡大

会員数の目標値については、コロナ禍により見直しを行い720人に設定されています。83人の新規入会があったものの、退会者が69人発生し、令和6年3月末において前年度末比で14人増の659人となりました。傾向としては、引き続き高年齢者の体調不良による退会、60代の会員を中心に新たな就職にともなう退会も多くみられました。

また本年度も引続き開催しました「出張おしごと説明会」につきましては、事前に地域住民に回覧を行ったことから、他の開催日にも参加いただく副次的効果もありました。

また、ポイントカード制度による新規会員紹介も周知が進み、12人の紹介があり

入会者数を高める効果がありました。

退会抑止に向けた施策として、正会員会費の割引制度やプラチナ会員の会費額についての検討を行い次年度に向け提案していきます。

粗入会率（会員数/市内60才以上の人口）については、中期計画目標値3.3%に対し、前年比0.2%増の2.8%（R4県平均2.8%）と少し改善されました。

- ① 定例の月2回の入会（おしごと）説明会を第2・第4木曜日開催に変更
出張おしごと説明会を4回実施（守山会館・玉津会館・速野会館・中洲会館）
- ② 会員募集チラシ活用し「学区民のつどい」等におけるPR活動実施
- ③ ポイントカード会員紹介取組み 紹介12名入会
- ④ 入会説明会での総務部会員および専門部会員による経験談

(3) 安全就業の徹底

県下統一の就業前後のチェックリストの記入を実施し、安全は全てに優先するという基本方針の下、事故ゼロを目指したものの、保険対象となるもので、3件の傷害事故（前年度3件）、6件の損害賠償責任事故（前年度2件）が発生と大きく増加しました。その他労災事故についても1件（前年度2件）発生しております。

特に損害賠償事故の6件中4件が機械刈除草による飛石事故という状況です。全国的にも飛石事故の発生が課題になっており、当センターも研修参加や近隣センターとの意見交換会を実施しました。研修においては、安全意識の向上が進まないことから、全面的にハサミ式草刈機の導入決定や除草業務の縮小や他業務への転換を進めるセンターの事例も報告されています。

当センターにおいても喫緊の課題として担当班とも協議し、対策を進め就業を維持していけるよう取り組みます。

また、会員の高齢化が進行していることから、第一には会員の皆様が日頃から健康管理をしっかり行っていただき、センターにおいては、年齢と能力に見合った就業をしていただくよう、業務の停止も含め危険を事前に取り除くことも必要と考えています。

- ① 安全委員会による安全パトロールの実施（6回）
※全体を把握するため知見のある会員に毎回従事を依頼
- ② 安全標語の募集と優秀作掲揚、総会時に全員で唱和
- ③ 肩掛け式草刈機の安全講習会の開催（3回）
- ④ 剪定班安全講習会の開催（2回）
- ⑤ 安全委員会だよりの発行（3回）
- ⑥ 運転業務者を中心にMOG I体験（運転免許更新時認知機能検査）

(4) 普及啓発活動の推進

センター事業の意義を広く市民に周知し、センターの活動を知っていただくため、普及啓発に取り組みました。特に啓発月間として10月は、「学区民のつどい」、「子育てしえんフェスティバル in 野洲」、「びわこ地球市民の森のつどい」と各週啓発に取り組みました。その他、年末の伝統行事「もりやまいち」にも参加し啓発に努め

ました。

また、10月11日に一斉清掃を奉仕活動として実施し、191名が参加しました。その活動が広報もりやまや等で紹介されました。

普及啓発の一環として、守山市役所新庁舎他3か所においてコミュニティビジョンによるCM放送を試行的に実施し、今後効果検証を行い継続の判断をします。

広報部会では、新聞購読者の減少などにより、同じ会員の皆様にすらシルバーの活動内容が十分伝えられていないことに危機感をもち、まずは広報誌の全会員への配布とともに、より一層市民の皆様へ分かり易く伝え、入会にも繋がる紙面づくりへの取り組みを進めています。

- ① ホームページの充実（会員のひろば掲載、センター情報、就業情報等）
- ② 広報誌の充実（「よろこび」の新聞折り込み、「会員のひろば」の発行）
- ③ 作業時に「のぼり旗」の掲揚
- ④ 各学区民のつどいででのPRと入会案内
- ⑤ 芦刈園の開花状況、第1なぎさ公園の菜の花の開花状況を周知

(5) 適正就業の推進

会員就業基準に基づき、公平公正な就業を図るため、会員就業希望調査を実施し、長期就業者(5年)の是正に努めました。本年度は、回答率が低下していることからアンケートの簡略化に取り組み実施しましたが、全体の回答率は62%と低水準となっています。皆様の意見を反映する機会ですので回答いただきますようお願いいたします。

また地域班の業務改善の一環として、会費徴収の方法を来年度から集金方式からコンビニ振込方式（振込手数料不要）に変更します。

1月以降の入会者が多かったものの全体の就業率も90%を確保することが出来ました。

- ① ワークシェアリング、ローテーション就業の推進
- ② 未就業者を主とする就業機会の提供
- ③ 会員の就業状況の把握と公平な就業機会の確保

(6) 就業能力の向上

会員に必要となる専門的知識・技能・技術の習得はもちろん、サービスを提供する事業者の一員であることを認識してもらうため、各種講習会を開催しました。

特に、高齢者のデジタル対応に向け、令和5年高齢者活躍人材確保育成事業により、地域ITサポート支援員養成講座およびスマホ教室を習熟度別に4クラスの開催をしました。本年度の申込状況を踏まえ継続して開催していきます。

- ① 技術の向上と知識の取得を図るため、定期的な技能・技術講習会の実施（機械刈、剪定講習会や襖・障子・網戸張替え講習会等）
- ② 地域ITサポート支援員養成講座（全8回）を実施
- ③ スマホ教室の開催および個別指導教室の開催を検討

(7) 運営体制の充実・強化

会員主体の自主・自立の運営をめざし、各専門部会等で活発な活動を行うとともに、様々なニーズに応え、センターを円滑に機能させるべく、事務局の体制強化と、財源確保に向け取り組みました。

事務局体制としては、令和7年度の事務所移転を視野に入れた人材育成を行うため職員採用を進めました。本年度中に採用できなかった人材については、引き続き採用を進めます。

また10月のインボイス制度の導入に向け、先行する公共発注に引き続き、民間・個人家庭への事務費見直しを進めるべく、近隣の状況を確認し令和6年度実施にむけ調整しました。

また移転後の事務所活用に向け現事務所の備品等の充実を図りました。

① 専門部会等での主な活動

ア 総務部会 11回

会員数の拡大、要綱の改正、理事会提出案件について他

イ 広報部会 11回

機関誌「会員のひろば(第9号)」および「よろこび(第46号)」の発行他

ウ 業務部会 5回(地域班) 3回(職群班)

中期計画に基づく、地域班および職群班の活動状況の把握、共通認識の形成
他

エ 事業開拓部会 5回

あじさいプロジェクトチーム、既存の独自事業の活動状況、就業開拓の活動
状況他

オ 女性部会 9回

へチマ栽培、いきいきサロン(6回)、女性会員拡大について他

(8) 地域社会への貢献

就業やボランティア活動を通して、市民に評価されるシルバーを目標に、地域社会の福祉と活性化に貢献し、地域から必要とされるシルバーを目指して取り組みました。

「シルバー環境美化の日(10月11日)」奉仕活動の実施につきましては、地域班ごとに学区の公共施設などの除草、清掃作業等を実施(191名参加)

玉津班は2回ボランティア活動を実施。

- ① 「行方不明高齢者 SOS ネットワーク」の協力事業所として参画
- ② 事業開拓部会では、活動の一環としてカブトムシの飼育に取組み、成虫を市内こども園等に贈呈
- ③ 営繕班は、地球市民の森の間伐材や木の実を活用したペンダントづくり等に取り組みイベント参加者から好評を得ました。

2 会員の現況

(令和6年3月31日現在)

(1) 学区・男女別構成

	男性	女性	計
守山	107	55	162
吉身	90	27	117
小津	40	30	70
玉津	51	18	69
河西	72	31	103
速野	62	40	102
中洲	22	14	36
合計	444	215	659

(2) 年齢別・男女別構成

	64歳以下	65～69	70～74	75～79	80以上	合計
男性	10	41	162	143	88	444
女性	6	31	75	71	32	215
合計	16	72	237	214	120	659
割合	2.4%	10.9%	36.0%	32.5%	18.2%	

(3) 平均年齢・最高年齢

	男性	女性	全体
平均年齢(才)	75.4	74.6	75.0
最高年齢(才)	92	90	

(4) 年度別入会者在籍数(人)

	s63	H1	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	元	2	3	4	5	計
男性	0	0	1	1	1	2	3	2	4	6	6	3	8	11	15	16	19	25	19	19	30	24	31	36	22	24	34	39	43	444	
女性	0	1	0	1	1	1	0	2	1	3	0	6	1	3	3	7	8	12	8	9	11	7	10	11	13	12	23	24	37	215	
合計	0	1	1	2	2	3	3	4	5	9	6	9	9	14	18	23	27	37	27	28	41	31	41	47	35	36	57	63	80	659	

(5) 入会者・退会者推移(年間)

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	2019年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
会員数	695	696	700	705	706	698	654	645	645	659
内訳	男	454	461	472	487	496	490	460	447	444
	女	241	235	228	218	210	208	194	198	215
入会者	86	98	77	79	88	67	55	78	82	83
退会者	114	97	73	74	87	75	99	87	82	69

3 事業活動概要

令和5年度事業計画に基づき、次の事業（行事）を実施しました。

(1) 令和5年度 定時総会

- ① 日 時 令和5年5月25日(木) 午後1時開会
- ② 場 所 守山市民ホール小ホール
- ③ 出席者 487名 (うち委任状出席者327名)
- ④ 審議事項
 - ア 令和4年度事業報告および収支決算について
 - イ 定款の一部変更について
 - ウ 役員の選任について

(2) 理事会

第1回	令和5年4月27日	令和4年度事業報告、収支決算および次期役員候補者について他
第2回	5月25日	理事長、副理事長、常務理事の選任について
第3回	10月25日	令和5年度会計補正(第2号) 予算・育児介護休業等規程の改正他
第4回	令和6年2月8日	令和5年度会計補正(第3号) 予算・給与規程一部改正他
第5回	3月25日	令和5年度会計補正(第4号)・令和6年度事業計画・予算他

(3) 部会長会

第1回	令和5年6月27日	第5回	10月24日
第2回	7月25日	第6回	11月28日
第3回	8月22日	第7回	令和6年1月23日
第4回	9月26日	第8回	2月27日

(4) 監査等

令和5年4月24日	会計・事業執行状況等監査 南井監事 三品監事
-----------	---------------------------

(5) 安全委員会等

第1回	令和5年6月5日
第2回	11月6日
第3回	令和6年1月31日

地区安全対策員会議

第1回	令和5年6月6日
-----	----------

【安全パトロール】

7月11日	5月18日	剪定班技術講習会
8月30日	7月25日	機械刈安全講習会
9月28日	8月22日	剪定班技術講習会
11月9日	12月5日	機械刈安全講習会
11月21日	2月29日	講演会
12月18日		

【安全講習会】

安全・適正就業推進会議

安全適正就業推進委員会	令和5年7月13日	安全適正就業推進委員会	令和6年2月26日
安全就業指導員会議(オンライン)	令和6年2月14日	連合会安全パトロール(日野)	令和5年9月12日

(6) 総務部会

第1回	令和5年4月18日	第1回理事会議案、総務部会事業方針について他
第2回	5月16日	令和5年度定時総会議案書

第3回	6月20日	事務局長会議内容報告
第4回	7月18日	部会活動報告および芦刈園総括
第5回	9月19日	部会活動報告および市老連協議状況
第6回	10月17日	部会活動報告および第3回理事会議案
第7回	11月21日	部会活動報告および同好会申込状況
第8回	12月19日	部会活動報告およびおでかけ説明会実施計画
第9回	令和6年1月16日	部会活動報告および第4回理事会議案
第10回	2月20日	部会活動報告および令和6年度事業計画(案) 会費規程見直し検討
第11回	3月19日	部会活動報告および第5回理事会議案

(7) 広報部会

第1回	令和5年4月18日	今年度の取組みについて他
第2回	5月18日	広報誌「会員のひろば」第9号発行について他
第3回	6月1日	広報誌「会員のひろば」第9号発行について他
第4回	6月15日	広報誌「会員のひろば」第9号発行について他
第5回	7月6日	広報誌「会員のひろば」第9号発行について他
第6回	7月20日	広報誌「会員のひろば」第9号発行について他
第7回	10月5日	広報誌「よろこび」第46号発行について他
第8回	10月19日	広報誌「よろこび」第46号発行について他
第9回	11月2日	広報誌「よろこび」第46号発行について他
第10回	11月16日	広報誌「よろこび」第46号発行について他
第11回	12月7日	広報誌「よろこび」第46号発行について他

(8) 業務部会

第1回(地域班)	令和5年5月19日	令和5年度上半期活動計画について他
第2回(地域班)	7月5日	令和5年度上半期中間報告について他
第1回(職群班)	7月7日	令和5年度上半期中間報告について他
第3回(地域班)	9月27日	令和5年度下半期活動計画について他
第4回(地域班)	令和6年1月24日	令和5年度下半期中間報告について他
第2回(職群班)	1月26日	令和5年度下半期中間報告について他
第5回(地域班)	3月18日	令和5年度事業計画総括
第3回(職群班)	3月21日	令和5年度事業計画総括

(9) 事業開拓部会

第1回(合同)	令和5年5月15日	部会活動方針、芦刈園について他
第2回(合同)	7月31日	あじさいフェア総括
第3回(合同)	8月18日	カブトムシの飼育について
第4回(合同)	11月7日	就業希望アンケート調査内容の見直し
第5回(合同)	令和6年2月15日	就業希望アンケート結果および今後の活動方針

(10) 女性部会

第1回	令和5年4月10日	今年度の取組みについて
-----	-----------	-------------

第2回	5月24日	あじさいフェアへの参加
第3回	7月12日	へちま苗 あじさいフェア報告 いきいきサロン
第4回	9月6日	10月開催イベント、いきいきサロン
第5回	10月11日	子育てしえんフェスティバルin野洲、いきいきサロン
第6回	11月18日	今後の活動について
第7回	令和6年1月24日	視察研修報告 ほのぼのハウスの活動について
第8回	2月14日	女性会員の増強について
第9回	3月27日	次年度活動計画

視察研修

令和5年11月29日	福岡市	シルボンヌ全国大会2023in福岡 2名
令和6年12月14日	米原市	米原市シルバー人材センター「田んぼっ湖カフェ」15名

いきいきサロン

令和5年7月26日	町家うの家	ギター演奏 歌声サロン	
10月30日	シルバーワークプラザ	「作ってみよう講座」エコ工作	参加者8名
11月13日	シルバーワークプラザ	「作ってみよう講座」指編み講座	参加者12名
12月12日	シルバーワークプラザ	クリスマスコンサート	参加者11名
令和6年2月6日	シルバーワークプラザ	「作ってみよう講座」干支のマスコット	参加者7名
3月6日	シルバーワークプラザ	「作ってみよう講座」クラフトトレイ	参加者9名

(11) 地域班・職群班会議

地域班

令和5年4月16日	玉津班役員会議	令和5年12月14日	守山班役員会議
4月20日	守山班役員会議	令和6年1月24日	吉身班役員会議
5月15～16日	吉身班役員会議	1月28日	玉津班役員会議
6月25日	速野班役員会議	2月4日	速野班全体会議
8月4日	吉身班役員会議	2月22日	守山班全体会議
8月19日	中洲班役員会議	2月26日	河西班役員会議
8月25日	守山班役員会議	2月27日	吉身班全体会議
8月27日	玉津班役員会議	3月5日	中洲班全体会議
9月10日	速野班役員会議	3月14日	守山班役員会議
9月19日	吉身班全体会議	3月26日	小津班全体会議
10月1日	中洲班役員会議		
10月1日	玉津班役員会議		

職群班

令和5年4月4日	宿直班会議	10月10日	営繕班会議
4月11日	営繕班会議	10月18日	剪定班役員会議
4月19日	剪定班役員会議	10月22日	機械刈班長会議
5月1日	機械刈班長会議	11月15日	剪定班役員会議
5月17日	剪定班役員会議	12月5日	営繕班会議
5月29日	剪定班合同総会	12月12日	地域巡回パトロール班代表者会議

6月13日	機械刈班長会議	12月20日	剪定班役員会議
6月21日	剪定班役員会議	令和6年1月9日	営繕班会議
6月28日	地区会館管理班役員会議	1月9日	地区会館管理班役員会議
7月5日	宿直班会議	1月17日	剪定班合同会議
7月15日	剪定班役員会議	1月21日	剪定班役員会議
7月20日	機械刈班長会議	2月21日	剪定班役員会議
8月21日	地域巡回パトロール班代表者会議	2月28日	宿直班緊急会議
8月22日	機械刈班長会議	2月29日	機械刈班総会
9月13日	剪定班役員会議	3月7日	地域巡回パトロール班代全体会議
9月26日	地区会館管理班役員会議	3月12日	剪定班役員会議
9月26日	宿直班会議	3月18日	地区会館管理班全体会議

(12) あじさいプロジェクトチーム会議

第1回	令和5年4月17日	令和5年度開催に向けての課題整理
第2回	令和6年3月12日	令和6年度開催に向けての課題整理

(13) みらいもりやま21ピオトーブ協議会・地球市民の森従事者全体会議

第21回	令和5年5月17日	第22回	7月19日
キックオフイベント	令和5年4月22日		

従事者全体会議	令和5年4/26・5/10	業務執行体制について
	令和6年3月12日	本年度総括・次年度体制

(14) 表彰選考委員会

第1回	令和5年4月18日	定時総会における被表彰者の選考について
-----	-----------	---------------------

(15) 入会説明会(おしごと説明会)定例:第2第4木曜日

令和5年4月13日	シルバーワークプラザ	11月9日	シルバーワークプラザ
4月27日	シルバーワークプラザ	11月22日	シルバーワークプラザ
5月11日	シルバーワークプラザ	12月14日	シルバーワークプラザ
6月8日	シルバーワークプラザ	令和6年1月11日	シルバーワークプラザ
6月22日	シルバーワークプラザ	1月25日	シルバーワークプラザ
7月13日	シルバーワークプラザ	2月8日	シルバーワークプラザ
7月27日	シルバーワークプラザ	2月21日	速野会館
8月10日	シルバーワークプラザ	2月22日	シルバーワークプラザ
8月10日	シルバーワークプラザ	2月23日	玉津会館
8月24日	シルバーワークプラザ	2月26日	守山会館
9月14日	シルバーワークプラザ	2月29日	中洲会館
9月28日	シルバーワークプラザ	3月14日	シルバーワークプラザ
10月12日	シルバーワークプラザ	3月28日	シルバーワークプラザ
10月26日	シルバーワークプラザ		

(16) その他参加した行事・研修・会議等

令和5年4月26・27日	新任職員調査研究会	県連合会
5月20日	部落解放・人権政策確立要求びわこ南部地域実行委員会総会	栗東市内
5月31日	正副理事長就任挨拶（守山市長ほか）	守山市内
6月9日	第1回事務局長会議	オンライン
6月14日	県連合会定時総会・交流会	草津市内
6月29日	包括契約調査研究会・デジタル事業調査研究会	草津市内
7月14日	シルバークフェスティバル事業検討委員会	県連合会
8月21・22日	近シ協職員研修会	草津市内
9月13日	湖南ブロック連絡協議会	草津市内
9月22日	会計職員調査研究会	県連合会
9月27日	市長要望（次年度予算等）	守山市役所
10月8日	各学区民のつどいブース参加～12/17	守山市内
10月11日	シルバー環境美化の日（奉仕活動）191名参加	守山市内
10月17日	第2回事務局長会議	オンライン
10月20日	新任理事長研修	東京都内
10月24日	公正採用・人権啓発研修会	オンライン
10月28日	子育てしえんフェスティバルin野洲	野洲市SC
10月29日	びわこ地球市民の森のつどい	守山市内
10月31日	指定管理選考会（ワークプラザ）	守山市役所
11月22日	シルバー事業総合検討委員会作業部会	県連合会
11月30日	派遣元責任者講習	京都市内
12月6日	湖南ブロック連絡協議会	草津市内
12月15日	職業紹介責任者講習	大阪市内
12月17日	もりやまいち	守山市内
12月21日	安全運転管理者講習会	守山市内
令和6年1月30日	第3回事務局長会議・シルバー事業総合検討委員会	オンライン
2月14・20日	デジタルリテラシー講習会	県連合会
2月22日	会計職員調査研究会	草津市内

(17) 高齢者活躍人材育成事業・講習会他

毎週火曜日	シニアセミナー開催	ハローワーク草津にて	47回開催
令和5年6月7日	網戸張替え講習会		9月6日 網戸張替え講習会
6月14日	障子の張替え講習会		9月20日 障子張替え講習会
7月12日	襖の張替え講習会		10月18日 襖張替え講習会
令和5年9月20日～10月5日（全8回／8日間）	地域ITサポート支援員養成講座		
令和5年11月22日～12月21日（全5回／5日間）	スマホ教室（体験・初級ⅠⅡ・中級・上級）		

(18) 教室等

令和5年4月7日～6月30日	パソコン講習会（ワード初級）	12回
7月7日～9月29日	パソコン講習会（ワード応用）	12回
10月6日～12月22日	パソコン講習会（エクセル初級）	12回

令和6年1月13日	～ 3月31日	パソコン講習会 (エクセル応用) 12回	
毎週火曜日	書道教室 (31回)	毎週水曜日	クラフト手芸教室 (39回)
毎週木曜日	編み物サークル (11回)	(R6. 1. 18から開講)	

4 事業実績

	令和5年度		令和4年度		対前年比
会員数 (3月31日)	659名		645名		14名増
	男 444 名	67.4%	男 440 名	68.2%	4名増
	女 215 名	32.6%	女 205 名	31.8%	10名増

請負・委任事業実績					
契約件数	1,860 件		1,948 件		88件減
就業実人員	511 人		515 人		4人減
就業延人員	50,416 人日		51,244 人日		828人日減
就業率	77.5 %		79.8 %		2.3%減
契約金額 (A)	269,922 千円	100.0%	271,042 千円	100.0%	1,120千円減
(1) 内訳					
配分金 (B)	223,592 千円	82.8%	221,921 千円	81.9%	1,671千円増
事務費	24,133 千円	9.0%	22,564 千円	8.3%	1,569千円増
材料費	22,197 千円	8.2%	26,557 千円	9.8%	4,360千円減
(2) 公民別					
公 共 (指定管理・独自含)	114,311 千円	42.3%	112,793 千円	41.6%	1,518千円増
民 間 (一般企業等)	100,806 千円	37.4%	103,760 千円	38.3%	2,954千円減
民 間 (個人・家庭等)	54,805 千円	20.3%	54,489 千円	20.1%	316千円増
(3) 職群別					
技術群 (教室・講座等)	626 千円	0.2%	847 千円	0.3%	221千円減
技能群 (剪定・営繕等)	41,394 千円	15.4%	41,656 千円	15.4%	262千円減
事務群 (筆耕・調査等)	1,096 千円	0.4%	1,011 千円	0.4%	85千円増
管理群 (建物管理等)	84,611 千円	31.3%	81,785 千円	30.2%	2,826千円増
折衝外交群 (販売・配達等)	1,926 千円	0.7%	2,064 千円	0.8%	138千円減
一般作業群 (除草・清掃等)	137,673 千円	51.0%	139,782 千円	51.6%	2,109千円減
サービス群 (家事・介護等)	2,596 千円	1.0%	3,897 千円	1.4%	1,301千円減

シルバー人材派遣事業実績			
契約金額 (C)	95,951 千円	79,490 千円	16,461千円増
賃 金 (D)	75,279 千円	62,547 千円	12,732千円増
就業実人員	188 人	175 人	13人増
就業延人員	16,155 人日	14,332 人日	1,823人日増

総事業実績			
契約金額 (A) + (C)	365,873 千円	350,532 千円	15,341千円増
配分金+賃金 (B) + (D)	298,871 千円	284,468 千円	14,403千円増
就業実人員	593 人	585 人	8人増
就業延人員	66,571 人日	65,576 人日	995人日増
就業率 (R4県平均78.6%)	90.0 %	90.7 %	0.7%減

議第2号

令和5年度収支決算について

上記の議案を提出する。

令和6年5月27日

公益社団法人 守山市シルバー人材センター
理事長 川那辺 孝 蔵

令和5年度

〔 収 支 決 算 報 告 〕

- 1 正味財産増減計算書
- 2 正味財産増減計算書内訳書
- 3 貸 借 対 照 表
- 4 財 産 目 録
- 5 財務諸表に対する注記

1 正味財産増減計算書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受託事業収益	274,414,907	275,236,334	△ 821,427
受取配分金	217,604,045	216,379,357	1,224,688
受取材料費等	22,196,512	26,556,391	△ 4,359,879
受取事務費	24,133,184	22,563,845	1,569,339
指定管理料収入	5,841,000	5,841,000	0
施設利用料収入	4,272,950	3,844,650	428,300
あじさいフェア開催収入	367,216	51,091	316,125
その他収入	0	0	0
労働者派遣事業等受託収益	7,440,696	6,084,353	1,356,343
労働者派遣事業等受託収益	7,440,696	6,084,353	1,356,343
高齢者活躍人材育成事業受託収益	1,299,605	1,234,180	65,425
高齢者活躍人材育成事業受託収益	1,299,605	1,234,180	65,425
受取会費	1,528,800	1,497,400	31,400
正会員受取会費	1,528,800	1,497,400	31,400
受取補助金等	28,120,000	28,120,000	0
受取連合交付金	14,060,000	14,060,000	0
受取(市)補助金	14,060,000	14,060,000	0
受取連合助成金	0	0	0
受取負担金	5,190	5,190	0
受取負担金	5,190	5,190	0
特定資産運用益	54	84	△ 30
特定資産受取利息	54	84	△ 30
雑収益	7,753	11,652	△ 3,899
受取利息	253	292	△ 39
雑収益	7,500	11,360	△ 3,860
他会計からの繰入金収益	0	0	0
公益会計からの繰入金収益	0	0	0
法人会計からの繰入金収益	0	0	0
経常収益計	312,817,005	312,189,193	627,812
(2) 経常費用			
事業費	316,132,713	304,161,299	11,971,414
支払配分金	223,592,163	221,921,334	1,670,829
支払材料費等	19,756,729	23,046,235	△ 3,289,506
役員報酬	279,000	259,500	19,500
給料手当	26,270,142	24,725,187	1,544,955
臨時雇賃金	1,880,725	1,311,300	569,425
法定福利費	4,325,345	4,088,409	236,936
退職給付費用	2,190,413	1,296,066	894,347
福利厚生費	185,385	105,982	79,403
会議費	61,971	49,885	12,086
役員等旅費交通費	82,202	67,992	14,210
旅費交通費	202,208	9,808	192,400
通信運搬費	1,207,834	1,538,788	△ 330,954
減価償却費	466,521	12,038	454,483
什器備品費	3,057,794	2,490,736	567,058
消耗品費	2,586,921	1,967,838	619,083
修繕費	2,777,329	799,762	1,977,567
印刷製本費	936,384	781,560	154,824
光熱水料費	959,645	1,104,650	△ 145,005
賃借料	4,088,201	3,829,470	258,731
保険料	3,525,534	3,325,763	199,771
諸謝金	417,565	353,726	63,839
租税公課	2,412,921	1,017,539	1,395,382
支払負担金	13,000	10,000	3,000
組織活動助成費	710,179	650,937	59,242
委託費	13,841,106	9,028,089	4,813,017
研修費	78,144	78,114	30
教材費	0	0	0

1 正味財産増減計算書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

(単位：円)			
科目	当年度	前年度	増減
支払手数料	119,823	140,019	△ 20,196
貸倒損失	0	0	0
支払利息	99,505	150,572	△ 51,067
雑費	8,024	0	8,024
管理費	4,101,377	3,497,859	603,518
役員報酬	877,000	555,500	321,500
給料手当	799,742	769,492	30,250
法定福利費	131,785	127,327	4,458
退職給付費用	75,638	37,062	38,576
福利厚生費	4,955	2,806	2,149
会議費	20,138	21,686	△ 1,548
役員等旅費交通費	42,784	56,592	△ 13,808
旅費交通費	1,700	0	1,700
通信運搬費	48,206	59,041	△ 10,835
減価償却費	0	0	0
什器備品費	0	0	0
消耗品費	145,110	139,474	5,636
修繕費	0	0	0
印刷製本費	176,550	132,880	43,670
光熱水料費	57,959	70,142	△ 12,183
賃借料	178,388	173,725	4,663
保険料	56,997	56,918	79
諸謝金	84,000	102,000	△ 18,000
租税公課	156,454	59,336	97,118
支払負担金	307,000	292,900	14,100
研修費	0	11,575	△ 11,575
委託費	932,011	821,212	110,799
支払手数料	4,960	8,191	△ 3,231
雑費	0	0	0
他会計からの繰出金	0	0	0
公益会計からの繰出金	0	0	0
法人会計からの繰出金	0	0	0
経常費用計	320,234,090	307,659,158	12,574,932
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 7,417,085	4,530,035	△ 11,947,120
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 7,417,085	4,530,035	△ 11,947,120
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	7	0	7
車両運搬具除却損	1	0	1
什器備品除却損	6	0	6
経常外費用計	7	0	7
当期経常外増減額	△ 7	0	△ 7
当期一般正味財産増減額	△ 7,417,092	4,530,035	△ 11,947,127
一般正味財産期首残高	28,541,963	24,011,928	4,530,035
一般正味財産期末残高	21,124,871	28,541,963	△ 7,417,092
II 指定正味財産増減の部			
(1) 収益			
収益計	0	0	0
(2) 費用			
費用計	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	21,124,871	28,541,963	△ 7,417,092

2 正味財産増減計算書内訳表

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

科目	公益目的事業会計			収益事業等会計	法人会計	内部取引等消去	合計
	シルバー人材センター事業	共通	小計				
(単位：円)							
I： 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
受託事業収益	271,230,967	0	271,230,967	0	3,183,940		274,414,907
受取配分金	217,604,045	0	217,604,045	0	0		217,604,045
受取材料費等	22,196,512	0	22,196,512	0	0		22,196,512
受取事務費	20,949,244	0	20,949,244	0	3,183,940		24,133,184
指定管理料収入	5,841,000	0	5,841,000	0	0		5,841,000
施設利用料収入	4,272,950	0	4,272,950	0	0		4,272,950
あじさいフェア開催収入	367,216	0	367,216	0	0		367,216
その他収入	0	0	0	0	0		0
労働者派遣事業等受託収益	7,440,696	0	7,440,696	0	0		7,440,696
労働者派遣事業等受託収益	7,440,696	0	7,440,696	0	0		7,440,696
高齢者活躍人材育成事業受託収益	1,299,605	0	1,299,605	0	0		1,299,605
高齢者活躍人材育成事業受託収益	1,299,605	0	1,299,605	0	0		1,299,605
受取会費	764,400	0	764,400	0	764,400		1,528,800
正会員受取会費	764,400	0	764,400	0	764,400		1,528,800
受取補助金等	28,120,000	0	28,120,000	0	0		28,120,000
受取連合交付金	14,060,000	0	14,060,000	0	0		14,060,000
受取(市)補助金	14,060,000	0	14,060,000	0	0		14,060,000
受取連合助成金	0	0	0	0	0		0
受取負担金	0	0	0	0	5,190		5,190
受取負担金	0	0	0	0	5,190		5,190
特定資産運用益	54	0	54	0	0		54
特定資産受取利息	54	0	54	0	0		54
雑収益	7,753	0	7,753	0	0		7,753
受取利息	253	0	253	0	0		253
雑収益	7,500	0	7,500	0	0		7,500
他会計からの繰入金収益	0	0	0	0	0		0
公益会計からの繰入金収益	0	0	0	0	0		0
法人会計からの繰入金収益	0	0	0	0	0		0
経常収益計	308,863,475	0	308,863,475	0	3,953,530		312,817,005
(2) 経常費用							
事業費	316,132,713	0	316,132,713	0	0		316,132,713
支払配分金	223,592,163	0	223,592,163	0	0		223,592,163
支払材料費等	19,756,729	0	19,756,729	0	0		19,756,729
役員報酬	279,000	0	279,000	0	0		279,000
給料手当	26,270,142	0	26,270,142	0	0		26,270,142
臨時雇賃金	1,880,725	0	1,880,725	0	0		1,880,725
法定福利費	4,325,345	0	4,325,345	0	0		4,325,345
退職給付費用	2,190,413	0	2,190,413	0	0		2,190,413
福利厚生費	185,385	0	185,385	0	0		185,385
会議費	61,971	0	61,971	0	0		61,971
役員等旅費交通費	82,202	0	82,202	0	0		82,202
旅費交通費	202,208	0	202,208	0	0		202,208
通信運搬費	1,207,834	0	1,207,834	0	0		1,207,834
減価償却費	466,521	0	466,521	0	0		466,521
什器備品費	3,057,794	0	3,057,794	0	0		3,057,794
消耗品費	2,586,921	0	2,586,921	0	0		2,586,921
修繕費	2,777,329	0	2,777,329	0	0		2,777,329
印刷製本費	936,384	0	936,384	0	0		936,384
光熱水料費	959,645	0	959,645	0	0		959,645
貸借料	4,088,201	0	4,088,201	0	0		4,088,201
保険料	3,525,534	0	3,525,534	0	0		3,525,534
諸謝金	417,565	0	417,565	0	0		417,565
租税公課	2,412,921	0	2,412,921	0	0		2,412,921
支払負担金	13,000	0	13,000	0	0		13,000
組織活動助成費	710,179	0	710,179	0	0		710,179
委託費	13,841,106	0	13,841,106	0	0		13,841,106
研修費	78,144	0	78,144	0	0		78,144
教材費	0	0	0	0	0		0
支払手数料	119,823	0	119,823	0	0		119,823
貸倒損失	0	0	0	0	0		0
支払利息	99,505	0	99,505	0	0		99,505

2 正味財産増減計算書内訳表

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

科目	公益目的事業会計			収益事業等会計	法人会計	内部取引等消去	合計
	シルバー人材センター事業	共通	小計				
雑費	8,024	0	8,024	0	0		8,024
管理費	0	0	0	0	4,101,377		4,101,377
役員報酬	0	0	0	0	877,000		877,000
給料手当	0	0	0	0	799,742		799,742
法定福利費	0	0	0	0	131,785		131,785
退職給付費用	0	0	0	0	75,638		75,638
福利厚生費	0	0	0	0	4,955		4,955
会議費	0	0	0	0	20,138		20,138
役員等旅費交通費	0	0	0	0	42,784		42,784
旅費交通費	0	0	0	0	1,700		1,700
通信運搬費	0	0	0	0	48,206		48,206
減価償却費	0	0	0	0	0		0
什器備品費	0	0	0	0	0		0
消耗品費	0	0	0	0	145,110		145,110
修繕費	0	0	0	0	0		0
印刷製本費	0	0	0	0	176,550		176,550
光熱水料費	0	0	0	0	57,959		57,959
賃借料	0	0	0	0	178,388		178,388
保険料	0	0	0	0	56,997		56,997
諸謝金	0	0	0	0	84,000		84,000
租税公課	0	0	0	0	156,454		156,454
支払負担金	0	0	0	0	307,000		307,000
研修費	0	0	0	0	0		0
委託費	0	0	0	0	932,011		932,011
支払手数料	0	0	0	0	4,960		4,960
雑費	0	0	0	0	0		0
他会計からの繰出金	0	0	0	0	0		0
公益会計からの繰出金	0	0	0	0	0		0
法人会計からの繰出金	0	0	0	0	0		0
経常費用計	316,132,713	0	316,132,713	0	4,101,377		320,234,090
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 7,269,238	0	△ 7,269,238	0	△ 147,847		△ 7,417,085
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0		0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0		0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0		0
評価損益等計	0	0	0	0	0		0
当期経常増減額	△ 7,269,238	0	△ 7,269,238	0	△ 147,847		△ 7,417,085
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0		0
(2) 経常外費用							
固定資産除却損	6	0	6	0	1		7
車両運搬具除却損	1	0	1	0	0		1
什器備品除却損	5	0	5	0	1		6
経常外費用計	6	0	6	0	1		7
当期経常外増減額	△ 6	0	△ 6	0	△ 1		△ 7
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 7,269,244	0	△ 7,269,244	0	△ 147,848		△ 7,417,092
他会計振替額	0	0	0	0	0		0
当期一般正味財産増減額	△ 7,269,244	0	△ 7,269,244	0	△ 147,848		△ 7,417,092
一般正味財産期首残高			28,485,646	0	56,417		28,541,963
一般正味財産期末残高			21,216,302	0	△ 91,431		21,124,871
II 指定正味財産増減の部							
(1) 収益							
収益計	0	0	0	0	0		0
(2) 費用							
費用計	0	0	0	0	0		0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0		0
指定正味財産期首残高			0	0	0		0
指定正味財産期末残高			0	0	0		0
III 正味財産期末残高			21,216,302	0	△ 91,431		21,124,871

3 貸借対照表

令和 6年 3月31日現在

001 本部

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
普通預金	10,133,242	28,597,526	△ 18,464,284
未収金	23,011,614	20,585,875	2,425,739
立替金	0	△ 80,577	80,577
前払金	11,760	12,760	△ 1,000
流動資産合計	33,156,616	49,115,584	△ 15,958,968
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	5,734,304	4,642,543	1,091,761
特定資産合計	5,734,304	4,642,543	1,091,761
(3) その他固定資産			
車輛運搬具	0	1	△ 1
什器備品	5,773,626	723,428	5,050,198
電話加入権	217,600	217,600	0
預託金	0	9,210	△ 9,210
その他固定資産合計	5,991,226	950,239	5,040,987
固定資産合計	11,725,530	5,592,782	6,132,748
資産合計	44,882,146	54,708,366	△ 9,826,220
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	17,453,259	21,177,110	△ 3,723,851
預り金	569,712	346,750	222,962
流動負債合計	18,022,971	21,523,860	△ 3,500,889
2. 固定負債			
退職給付引当金	5,734,304	4,642,543	1,091,761
固定負債合計	5,734,304	4,642,543	1,091,761
負債合計	23,757,275	26,166,403	△ 2,409,128
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	21,124,871	28,541,963	△ 7,417,092
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(5,734,304)	(4,642,543)	(1,091,761)
正味財産合計	21,124,871	28,541,963	△ 7,417,092
負債及び正味財産合計	44,882,146	54,708,366	△ 9,826,220

4 財産目録

令和6年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等		金額	
		使用目的等	使用事業		
流動資産					
現金	手元保管	運転資金	シルバー人材センター事業 法人管理	0	
		普通預金 滋賀銀行守山支店	運転資金	シルバー人材センター事業	6,434,432
	普通預金 滋賀銀行守山支店	指定管理事業	シルバー人材センター事業	3,635,731	
		補助金管理用	シルバー人材センター事業	0	
	普通預金 滋賀銀行守山支店	高齢者活躍人材育成事業管理用	シルバー人材センター事業	0	
		受託事業用	シルバー人材センター事業 法人管理	15,776	
	普通預金 JAレーク滋賀守山支店	受託事業用	シルバー人材センター事業	0	
		受託事業用	シルバー人材センター事業	47,303	
	未収金	守山市他194件	受託事業	シルバー人材センター事業	21,385,039
		滋賀県SJC連合会	派遣受託収益	シルバー人材センター事業	1,626,575
前払金	守山市民ホール	総会施設利用料	法人管理	11,760	
流動資産合計				33,156,616	
固定資産					
特定資産	退職給付引当資産	定期預金 JAレーク滋賀守山支店	職員退職金支払いに 備える	シルバー人材センター事業 法人管理	5,504,631 229,673
その他の固定資産	什器備品	草刈機・チップ・シュレッダー・ブライント・防犯カメラ・ロッカー・ノートPC	公益目的保有財産でありシルバー事業に使用	シルバー人材センター事業	5,773,626
	電話加入権	電話回線3回線	公益目的保有財産でありシルバー事業に使用	シルバー人材センター事業	217,600
固定資産合計				11,725,530	
資産合計				44,882,146	
流動負債					
未払金	配分金3月分	3月分配分金未払	シルバー人材センター事業	12,309,385	
		守山市環境センター他11件	受託事業材料費未払	シルバー人材センター事業	1,115,806
		NRI社会情報システム他26件	事業費未払	シルバー人材センター事業 法人管理	1,615,040 45,112
		理事・専門部会員等	3月分役員報酬・諸謝金・旅費	シルバー人材センター事業 法人管理	57,078 111,278
		職員法定福利費	労働保険料・2~3月分社会保険料	シルバー人材センター事業 法人管理	608,969 25,973
		職員退職給付費用	3月分退職給付費用(総合型DB)	シルバー人材センター事業 法人管理	46,649 1,411
		職員貸金	3月分超勤貸金未払	シルバー人材センター事業	52,355
		臨時職員貸金	3月分貸金未払	シルバー人材センター事業	110,605
		消費税	R5年度確定納付額	シルバー人材センター事業 法人管理	1,209,394 144,204
		預り金	所得税	職員からの預り金	シルバー人材センター事業 法人管理
	健康保険・厚生年金保険料		職員からの預り金	シルバー人材センター事業	273,327
	住民税		職員からの預り金	シルバー人材センター事業	57,300
	雇用保険	職員からの預り金	シルバー人材センター事業	173,934	
コンビニ決済手数料		発注者からの預り金	シルバー人材センター事業	17,780	
流動負債合計				18,022,971	
固定負債	退職給付引当金	定期預金 JAレーク滋賀守山支店	職員退職金支払いに 備える	シルバー人材センター事業 法人管理	5,504,631 229,673
固定負債合計				5,734,304	
負債合計				23,757,275	
正味財産				21,124,871	

5 財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却方法

減価償却資産について、定額法により実施。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金…期末退職給付の要支給額に相当する金額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税の会計処理は税込方式によっている。

2. 特定資産の増減及びその残高

特定資産の増減及びその残高は、次のとおりである。

科目	前期残高	当期増加額	当期減少額	当期残高
特定資産				
退職給付引当資産	4,642,543	1,091,761	0	5,734,304
合計	4,642,543	1,091,761	0	5,734,304

引当金の明細

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	4,642,543	1,091,761	0	0	5,734,304

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
特定資産				
退職給付引当資産	5,734,304	(0)	(0)	(5,734,304)
合計	5,734,304	0	0	(5,734,304)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	776,895	776,895	0
什器備品	7,246,959	1,473,333	5,773,626
合計	8,023,854	2,250,228	5,773,626

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
補助金						
高齢者就業機会 確保事業費等補助金	連合	0	14,060,000	14,060,000	0	—
運営補助金	市	0	14,060,000	14,060,000	0	—
合計		0	28,120,000	28,120,000	0	

6. その他

液晶一体型パソコン・プリンター・電子複写機・印刷機・電話機・軽貨物車のリース契約により
令和5年度末の債務負担合計残高 7,921,480 円

7. 付属明細書

「基本財産及び特定資産の明細」及び「引当金の明細」は本財務諸表の注記において記載している。

監査報告書

令和6年4月24日

公益社団法人 守山市シルバー人材センター
理事長 川那辺 孝蔵 様

公益社団法人 守山市シルバー人材センター

監事 南 井 哲
監事 芝 品 長 石

私達は、公益社団法人守山市シルバー人材センターの令和5年度における会計および業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、会計帳票ならびに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて実施した。
- (2) 業務監査については、理事から実施事業の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて実施した。

2 監査の結果

- (1) 公益社団法人守山市シルバー人材センターの令和5年度の計算書類およびその付属証明書は、一般に公正妥当と認められる公益法人会計基準に準拠しており、公益社団法人守山市シルバー人材センターの正味財産増減の状況および財政状態を適正に表示しているものと認める。
- (2) 公益社団法人守山市シルバー人材センターの令和5年度の事業報告および付属明細書の内容は真実であり、法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。
- (3) 理事の職務の執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上

議第3号

公益社団法人守山市シルバー人材センター会費規程の一部改正について

上記の議案を提出する。

令和6年5月27日

公益社団法人守山市シルバー人材センター
理事長 川那辺 孝 蔵

公益社団法人守山市シルバー人材センター会費規程の一部を次のように改正する。

第2条第2項を次のとおり改める。

2 第1号の会費の額については、次の各号に該当する場合には、減額または免除することができる。ただし、併用はできないものとする。

- (1) 配偶者割引 配偶者(婚姻の届出をしていないが事実上婚姻関係と同様の事情にあるものを含む。)と共に入会している期間は、各々会費の2分の1を減額
- (2) 勤続割引 正会員として入会から15年間勤続し、16年目以降退会するまでの間会費の2分の1を減額
- (3) 正会員のうちプラチナ会員として理事長から承認を受けた者 年額 500円
- (4) 1月から3月までの新規入会者は、入会した年度に限り会費を免除

付 則

この規程は、令和6年5月27日から施行する。ただし、第2条第2項第1号から第4号までの規定は令和6年4月1日から適用する。また、令和6年度は、第3条中5月末日を6月末日に読み替える。

新旧対照表 (公益社団法人守山市シルバー人材センター会費規程)

現 規 程	新 規 程
<p>(目 的)</p> <p>第1条 (略)</p> <p>(会費の額)</p> <p>第2条 会員が納入する会費の額は、次の各号に定める額とする。</p> <p>(1) 正会員の会費は、年額2,400円とする。</p> <p>(2) 賛助会員の会費は、1口、1,000円とする。</p> <p>2 第1号の会費の額については、正会員のうちプラチナ会員として理事会の承認を受けた者については、前項の額の2分の1の額とする。</p> <p>3 年度の途中で退会した者の会費は、これを返却しない。</p> <p>(会費の納入)</p> <p>第3条 正会員の会費は、毎年5月末日までに、当該年度分を一括納入するものとする。ただし、年度中途における新規加入者は、当該年度の残存月数(入会月を含む。)に2,000円を乗じた金額を、当該年度の会費として納入するものとする。</p> <p>以下省略</p>	<p>(目 的)</p> <p>第2条 (略)</p> <p>(会費の額)</p> <p>第2条 会員が納入する会費の額は、次の各号に定める額とする。</p> <p>(1) 正会員の会費は、年額2,400円とする。</p> <p>(2) 賛助会員の会費は、1口、1,000円とする。</p> <p>2 第1号の会費の額については、次の各号に該当する場合には、減額または免除することができる。ただし、併用はできないものとする。</p> <p>(1) 配偶者割引 配偶者(婚姻の届出をしていないが事実上婚姻関係と同様の事情にあるものを含む。)と共に入会している期間は、各々会費の2分の1を減額</p> <p>(2) 勤続割引 正会員として入会から15年間勤続し、16年目を以降退会するまでの間、会費の2分の1を減額</p> <p>(3) 正会員のうちプラチナ会員として理事長から承認を受けた者 年額 500円</p> <p>(4) 1月から3月までの新規入会者は、入会した年度に限り会費を免除</p> <p>付 則</p> <p>この規程は、令和6年5月27日から施行する。ただし、第2条第2項第1号から第4号までの規定は令和6年4月1日から適用する。また、令和6年度は、第3条中5月末日を6月末日に読み替える。</p> <p>以下省略</p>

報告第1号 令和5年度補正予算について

令和5年度 公益社団法人守山市シルバー人材センター収支予算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科目	予算額	補正予算額	予算現額	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受託事業収益	293,972,233	37,203,373	331,175,606	
受取配分金	241,000,000	19,100,000	260,100,000	収益の精査
受取材料費等	18,700,000	9,500,000	28,200,000	収益の精査
受取事務費	24,100,000	8,203,372	32,303,372	収益の精査
指定管理料収入	5,841,000	0	5,841,000	
施設利用料収入	4,100,000	200,000	4,300,000	芦刈園入園者数の増加
あじさいフェア開催収入	181,233	200,001	381,234	あじさいフェア売上高の増加
その他収入	50,000	0	50,000	
労働者派遣事業等受託収益	6,480,000	960,696	7,440,696	
労働者派遣事業等受託収益	6,480,000	960,696	7,440,696	派遣実績の伸長
高齢者活躍人材確保育成事業受託収益	0	1,299,605	1,299,605	
高齢者活躍人材確保育成事業受託収益	0	1,299,605	1,299,605	高齢者活躍人材確保育成事業実施
受取会費	1,755,000	0	1,755,000	
正会員受取会費	1,755,000	0	1,755,000	
受取補助金等	28,120,000	0	28,120,000	
受取連合交付金	14,060,000	0	14,060,000	
受取市(区)町村補助金	14,060,000	0	14,060,000	
受取負担金	3,200	2,800	6,000	
受取負担金	3,200	2,800	6,000	役員賠償責任保険
特定資産運用益	5,000	0	5,000	
特定資産受取利息	5,000	0	5,000	
雑収益	13,000	0	13,000	
受取利息	3,000	0	3,000	
雑収益	10,000	0	10,000	
経常収益計	330,348,433	39,466,474	369,814,907	
(2) 経常費用				
事業費	327,122,413	42,289,468	369,411,881	
支払配分金	247,270,000	14,100,000	261,370,000	支払配分金の増加
支払材料費等	19,700,000	4,300,000	24,000,000	支払材料費の増加
役員報酬	888,050	△ 330,000	558,050	管理費へ振替
給料手当	25,434,172	2,500,001	27,934,173	給料表改正、嘱託職員の正規登用
臨時雇賃金	2,022,000	△ 123,200	1,898,800	臨時職員1名の期中退職
法定福利費	4,175,411	261,953	4,437,364	給料手当増加に伴う増額
退職給付費用	1,150,276	1,070,000	2,220,276	給料手当増加に伴う増額、退職給付引当金
福利厚生費	133,890	102,000	235,890	職員制服、健康診断費の増加
会議費	158,000	△ 53,000	105,000	研修費へ振替・費用の精査
役員等旅費交通費	343,800	△ 200,000	143,800	旅費交通費へ振替
旅費交通費	48,000	200,000	248,000	役員等旅費交通費より振替
通信運搬費	1,586,615	△ 50,000	1,536,615	切手代の減少
減価償却費	0	639,994	639,994	R5年度分の計上
什器備品費	1,065,000	3,950,000	5,015,000	プロロー・生垣バリカン等事業用物品
消耗品費	1,965,200	1,141,817	3,107,017	芦刈園備品、安全対策用品等
修繕費	670,000	2,400,000	3,070,000	機械修理、ワークブラザ照明・トイレ壁修繕等
印刷製本費	1,224,000	△ 57,500	1,166,500	管理費へ振替・費用の精査
光熱水料費	2,204,820	△ 1,000,000	1,204,820	消耗品費へ振替
賃借料	3,724,985	542,000	4,266,985	軽トラ1台増加・使用科目の変更
保険料	3,418,956	299,975	3,718,931	農作業用自動車・軽トラ増加による
諸謝金	727,500	△ 220,700	506,800	費用の精査
租税公課	784,200	2,996,875	3,781,075	R5年度消費税、収入印紙等
支払負担金	15,000	0	15,000	

科目	予算額	補正予算額	予算現額	備考
組織活動助成費	814,000	0	814,000	
委託費	6,969,614	9,969,753	16,939,367	派遣職員・地球市民の森管理・PC入替時の環境設定等
研修費	81,000	49,500	130,500	会議費より振替
支払手数料	152,924	0	152,924	
支払利息	375,000	△ 200,000	175,000	短期借入金の減少による
雑費	20,000	0	20,000	
管理費	3,226,020	1,467,999	4,694,019	
役員報酬	630,200	300,000	930,200	事業費より振替
給料手当	798,353	5,000	803,353	給料表改正、嘱託職員の正規登用
法定福利費	132,023	2,000	134,023	給料手当増加に伴う増額
退職給付費用	37,542	38,000	75,542	給料手当増加に伴う増額、退職給付引当金
福利厚生費	1,810	4,999	6,809	職員制服、健康診断費の増加
会議費	28,000	0	28,000	
役員等旅費交通費	30,740	18,000	48,740	旅費交通費より振替
旅費交通費	34,900	△ 30,000	4,900	役員等旅費交通費へ振替・費用の精査
通信運搬費	71,255	0	71,255	
減価償却費	0	0	0	
消耗品費	37,800	202,000	239,800	事務用品の購入
印刷製本費	136,000	45,000	181,000	事業費より振替
光熱水料費	149,481	△ 60,000	89,481	消耗品費へ振替
賃借料	220,270	0	220,270	
保険料	35,814	74,893	110,707	役員賠償責任保険の増額
諸謝金	108,900	0	108,900	
租税公課	55,800	115,700	171,500	R5年度消費税、収入印紙等
支払負担金	333,000	0	333,000	
委託費	380,626	760,407	1,131,033	コピー代の増加、社労士顧問契約
支払手数料	3,506	2,000	5,506	振込手数料の増加
経常費用計	330,348,433	43,757,467	374,105,900	
当期経常増減額	0	△ 4,290,993	△ 4,290,993	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
固定資産除却損	0	7	7	
車両運搬具除却損	0	1	1	軽バン1台廃車
什器備品除却損	0	6	6	使用不能の固定資産の除却
経常外費用計	0	7	7	
当期経常外増減額	0	△ 7	△ 7	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	0	△ 4,291,000	△ 4,291,000	
一般正味財産期首残高	24,011,928	4,530,035	28,541,963	
一般正味財産期末残高	24,011,928	239,035	24,250,963	
II 指定正味財産増減の部				
受取補助金等				
一般正味財産への振替額	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高				
III 正味財産期末残高	24,011,928	239,035	24,250,963	

令和5年度収支予算書に係る注記

令和5年4月1日～令和6年3月31日

(単位：円)

科 目	予 算 額	補正予算額	予 算 現 額	備 考
【投資活動収支の部】				
(投資活動収入)				
特定資産取崩収入	0	0	0	
退職給付引当資産取崩収入	0	0	0	
減価償却引当資産取崩収入	0	0	0	
財政運営資金資産取崩収入	0	0	0	
投資活動収入計	0	0	0	
(投資活動支出)				
固定資産取得支出	0	6,050,700	6,050,700	
什器備品購入支出	0	6,050,700	6,050,700	複写機、草刈機、防犯カメラ等購入費
特定資産取得支出	0	1,091,761	1,091,761	
退職給付引当資産取得支出	0	1,091,761	1,091,761	退職給付引当金 R5年度分
減価償却引当資産取得支出	0	0	0	
財政運営資金資産取得支出	0	0	0	
投資活動支出計	0	7,142,461	7,142,461	
【財務活動収支の部】				
(財務活動収入)				
借入金収入	20,000,000	0	20,000,000	
短期借入金収入	20,000,000	0	20,000,000	
財務活動収入計	20,000,000	0	20,000,000	
(財務活動支出)				
借入金返済支出	20,000,000	0	20,000,000	
短期借入金返済支出	20,000,000	0	20,000,000	
財務活動支出計	20,000,000	0	20,000,000	

2. 借入金限度額

短期借入金限度額は20,000,000円とする。

3. 債務負担額

液晶一体型パソコン(7台)、プリンター(2台)の5年間リースにより

2018(平成30)年度	370,656
2019年度	555,984
2020(令和2)年度	555,984
2021(令和3)年度	555,984
2022(令和4)年度	555,984
2023(令和5)年度	185,328
計	2,778,920

軽貨物車(滋賀480さ1735)の4年間再リースにより

2021(令和3)年度	157,300円
2022(令和4)年度	171,600円
2023(令和5)年度	171,600円
2024(令和6)年度	171,600円
2025(令和7)年度	14,300円
計	686,400円

液晶一体型パソコン(1台)の1年間再リースにより

2022(令和4)年度	10,560
計	10,560

軽貨物車(滋賀480さ1736)の4年間再リースにより

2021(令和3)年度	157,300円
2022(令和4)年度	171,600円
2023(令和5)年度	171,600円
2024(令和6)年度	171,600円
2025(令和7)年度	14,300円
計	686,400円

液晶一体型パソコン(1台)の51か月間リースにより

2019年度	62,964
2020(令和2)年度	68,688
2021(令和3)年度	68,688
2022(令和4)年度	68,688
2023(令和5)年度	22,896
計	291,924

軽貨物車(滋賀480す8287)の5年間の再リースにより

2019年度	32,780円
2020(令和2)年度	196,680円
2021(令和3)年度	196,680円
2022(令和4)年度	196,680円
2023(令和5)年度	196,680円
2024(令和6)年度	163,900円
計	983,400円

電子複写機(RICOH MP3004SPF)の5年間リースにより

2018(平成30)年度	225,720
2019年度	246,240
2020(令和2)年度	246,240
2021(令和3)年度	246,240
2022(令和4)年度	246,240
2023(令和5)年度	20,520
計	1,231,200

軽貨物車(滋賀480そ6969)の2年間再リースにより

2022(令和4)年度	158,400円
2023(令和5)年度	158,400円
計	316,800円

リソグラフ印刷機(FW5230)の7年間リースにより

2018(平成30)年度	200,000
2019年度	602,640
2020(令和2)年度	602,640
2021(令和3)年度	602,640
2022(令和4)年度	602,640
2023(令和5)年度	602,640
2024(令和6)年度	602,640
2025(令和7)年度	401,760
計	4,218,480

軽貨物車(滋賀480た6376)の5年間リースにより

2018年度(平成30年度)	261,856円
2019年度	274,752円
2020(令和2)年度	274,752円
2021(令和3)年度	274,752円
2022(令和4)年度	274,752円
2023(令和5)年度	22,886円
計	1,373,760円

ビジネスフォン(ET-S/LA主装置他)の6年間リースにより

2021(令和3)年度	97,680
2022(令和4)年度	293,040
2023(令和5)年度	293,040
2024(令和6)年度	293,040
2025(令和7)年度	293,040
2026(令和8)年度	293,040
2027(令和9)年度	195,360
計	1,758,240

軽貨物車(滋賀480た7767)の5年間リースにより

2018年度(平成30)年度	197,316円
2019年度	263,088円
2020(令和2)年度	263,088円
2021(令和3)年度	263,088円
2022(令和4)年度	263,088円
2023(令和5)年度	65,772円
計	1,315,440円

軽貨物車(滋賀480ち3966)の5年間リースにより

2019年度	231,984
2020(令和2)年度	231,984
2021(令和3)年度	231,984
2022(令和4)年度	231,984
2023(令和5)年度	231,984
計	1,159,920

軽貨物車(新)の6年間リースにより

2022年度(令和4)年度	242,880円
2023年度(令和5)年度	242,880円
2024年度(令和6)年度	242,880円
2025年度(令和7)年度	242,880円
2026年度(令和8)年度	242,880円
2027年度(令和9)年度	242,880円
計	1,457,280円

4. 収支予算書を上回って支出する特例

配分金・材料費等収入の増加に連動する支出(配分金、材料費等支出)に限り、予算額を越えて執行することができます。

令和6年度事業計画

1 基本方針

2024年の景気は緩やかながらも回復基調が続くとみられていますが、中東情勢やウクライナ情勢が長期化、米国景気の悪化、中国の過剰債務の顕在化、米中対立の激化など海外経済の多くの下振れリスク要因により影響を受ける恐れがあります。

シルバー人材センターを取り巻く環境については、2023年10月から導入されたインボイス制度や本年秋の施行が想定されるフリーランス新法にともない発注者、センター、会員の三者間の関係を見直す新たな包括契約の提案が厚生労働省から示されました。県連合会および県内各センターは、当面包括契約には移行せず、現行制度により運営する方針で取り組んでいますが、フリーランス新法施行後における就業条件の明示など適正な対応が取れるようしっかり準備を進めます。

このような状況のもと、シルバー人材センターは、地域の日常生活に密着した就業機会を提供することなどにより、高齢者の社会参加を促進し、生きがいの充実、健康の保持増進、ひいては地域社会の活性化などに引き続き貢献するため本年度次の業務に取り組めます。

本年度の主な事業計画として、まず会員数の拡大を最重点に取り組めます。令和2年度からのコロナ禍により減少した約50名の会員数の回復を目標に「働く・学ぶ・遊ぶ・参画する」の視点で会員募集に取り組めます。

業務面においては、会員皆様の就業によりまして、県内でもトップクラスの受注増となっています。反面、シルバーの基幹業務である除草・剪定においては、業務量に対し会員の高齢化と後継者不足が顕著になっています。

対応策として、新たな人材発掘と育成、機械導入による効率化を一層進め業務の軽減を目指します。また、びわこ地球市民の森緑地管理業務においても、新たに担当制により管理と人材育成に取り組む準備を進めておりシルバーの新しいモデルとして定着することを目指して取組めます。

また、派遣業務においても法律の改正等を踏まえ、会員皆様の希望する就労をより長く続けていただけるよう連合会とともに対応していきます。

就業機会の拡大に向けては、守山商工会議所と一層の連携を図り、シルバー人材センターの活用と企業退職予定者への周知の両面からの協力を求めています。

安全就業の徹底については、多くの事故発生を踏まえ、改めて「安全は全てに優先する」の心構えで就業し、就業前の安全確認の徹底を求めるとともに、入会説明会ははじめ様々な機会をとらえて会員一人一人の安全意識の向上を図

れるよう取り組みます。

最後に、本年度は第2次中期計画の最終年度となることから次期計画の策定に向け取り組みます。

本年度においても引続き、地域ニーズを把握する中、計画の着実な推進と就業や奉仕活動を通じて、会員が生きがいをもって、地域福祉と地域の活性化に貢献できるセンターを目指して、次の諸事業を推進してまいります。

2 事業実施計画

(1) 就業機会の拡大

- ① 契約金額は、中期計画の目標数値である346,000千円、未就業者を出さないことを目指し就業率90%以上の確保と就業機会の拡大に取り組みます。
- ② 就業先の開拓、拡大【商工会議所との連携】
- ③ 就業ニーズ把握による新規事業開拓【進出企業へのアプローチ】
- ④ 既存事業の強化・拡大【除草・剪定作業の人員確保と後継者育成】
- ⑤ 女性就業機会の拡大【湖南ブロック交流・意見交換】
- ⑥ 人的資源のPRと活用【市内企業への周知】
- ⑦ 就業ミスマッチの解消

(2) 会員数の拡大

会員数は、コロナ禍前の最大値720名を目標に取り組みます。シルバーへの入会動機も多様化しており、仕事だけでなく学ぶ・遊ぶ・参画の提案を発信し会員の入会促進に取り組みます。特に、引続き女性会員数の拡大を重点的に取組みます。また、会員活動の活性化や退会抑止を目的に年会費の割引制度の新設やポイントカード制度も継続します。

- ① 入会の促進、新規入会者の拡大【会員一人一人の勧誘・会費割引】
- ② 入会勧誘方法の工夫【出張おしごと説明会・Web入会周知】
- ③ 退会者の防止【各種教室開催や同好会活動の活性化】
- ④ 女性会員数の拡大【いきいきサロン・各種講習会開催・先進地視察研修】

(3) 安全就業の徹底

日頃から自身の体調管理に努め、作業前後のチェックシートによるチェックを確実に実施し、安全は全てに優先するという基本方針の更なる徹底を図ります。就業前の安全確認の厳守および講習会以外にも安全意識を高める機会として安全就業作業マニュアルを活用し、入会説明会ははじめ機会を見出し会員への啓発を行います。

全国的にシルバーの作業中の傷害・賠償責任事故が多く発生し、特に賠償

責任事故は、半数以上が除草作業中の飛石事故となっております。このような状況が続けば保険料の高騰と免責事項が設定される可能性があります。

十分な下見と危険予測および飛散防止ネット等事故防止に必要な用具の設置を確実に実施し、より一層の安全対策の徹底に努め事故ゼロを目指します。

- ① 全ての事故の未然防止
- ② 賠償責任事故ゼロ、傷害事故ゼロ、交通事故ゼロ
- ③ 安全就業基準、作業別安全就業基準、地域班共同作業実施マニュアルの遵守と周知啓発。チェックシートの活用徹底
- ④ ヘルメット・安全帯の適正な着用・複数人での作業体制の確立
- ⑤ 危険に対する感受性の高揚【ヒヤリハットの周知・危険予知能力の向上】
- ⑥ 交通事故防止【自転車ヘルメット着用・斜め横断厳禁】
- ⑦ 健康の保持・増進【熱中症対策】
- ⑧ 自主管理体制の確立【業務分担の明確化・事例：びわこ地球市民の森】

(4) 普及啓発活動の推進

センター事業の意義を広く市民に周知し、センターの活動を知っていただくため、イメージアップ戦略、「笑顔をとどける」をキーワードとして積極的な普及啓発に取り組みます。また、女性部会では、いきいきサロンの開催を通し普及啓発に努めます。

- ① ホームページの充実【就業情報・会員のページの充実・SNS導入】
- ② 広報誌の充実
【「よろこび」の新聞折込・公共施設への設置拡充、「会員のひろば」の発行・会員の広報誌への投稿活性化（ポイント付与）】
- ③ 作業時に「のぼり旗」の掲揚 使用車両にマグネット啓発シート
- ④ 各種イベントでの啓発活動の実施
【イベントグループの設立】【イベントツール整備】
- ⑤ 公共施設等でのパンフレットの配置

(5) 適正就業の推進

シルバー人材センターにおける派遣事業のさらなる拡大が求められる中平成28年度に厚生労働省が策定した「適正就業ガイドライン」の活用を図り、「適正な受託と就業」に取り組みます。

- ① ワークシェアリング、グループ就業、ローテーション就業の検証と推進

- ② 未就業者を主とする適正就業機会の提供
- ③ 会員の就業状況の把握と公平な就業機会の確保
- ④ 会員の要望把握
- ⑤ 派遣会員の労働条件明示

(6) 就業能力の向上

会員に必要なとなる専門的知識・技能・技術の習得はもちろん、サービスを提供する事業者の一員であることを認識してもらうため、各種講習会を開催し就業能力の向上に努めます。デジタル社会への変革が急速に進行していることから、デジタル技術を取り入れた事業展開を図る必要があります。事務局と会員の皆様とをつなぐツールとしてスマートフォンは増々重要となることから、本年度もスマホ教室を開催するとともに第1四半期にセンターとしてのLINE公式アカウントを開設する予定です。

またセンターの基幹業務である除草・剪定業務においては、高齢化と後継者不足により、今後において現在の受注規模が維持できるか懸念されることから、現在の受注・施工体制の再編成の検討を含め、魅力向上と後継者育成および機械化の導入等検討と対応策を進めます。

- ① 定期的な技能・技術講習会の実施
- ② 適正就業研修の実施
- ③ 技術の向上と知識の取得
- ④ 人材不足の職種に関する講習、研修での人材開発
- ⑤ 後継者の育成と新規機材の導入
- ⑥ 課題の共有と対応

(7) 運営体制の充実・強化

様々なニーズに応じていくため、センター運営機能の一層の充実・強化に取り組みます。特に、事務所の再移転を見据えた人員配置とセンター運営のDX化による効率化・簡素化による事務コストの削減検討ならびに会員のデジタル環境の活用支援を行いセンターの安定的な運営を図ります。

また令和6年度の国の補助金交付限度額の算定方法が見直され、会員の増減を含めた事業実績を活用して算定されることになりました。財源確保に向け事業・会員数の拡大を目指します。

また「適格請求書等保存（インボイス制度）」導入にともない国から提示された三者間（発注者・センター・会員）の包括契約への移行は当面行わず従来の契約体制を継続します。

本年度秋に施行される見込みのフリーランス新法関係では、就業条件の明示が義務化されることからオンラインで完結できる体制づくりを進めます。

また、第2次中期計画の最終年度であるため、次期計画に向け、項目および数値目標値の検証および策定を行います。

最後に地域班運営については、役員の業務の軽減や選任のルール化などについてしっかり議論を行い、次期役員の選考がスムーズに進むよう検討していきます。

- ① 事業運営への女性の参画【移転後の小津事務所の活用】
- ② 事務局体制の充実・強化【職員採用】
- ③ 職員の待遇改善【類似団体との比較による段階的充実】
- ④ 財源の確保【インボイス制度への対応】
- ⑤ 小津事務所の整備と新事務所のDX化の検討
- ⑥ 会員のデジタル環境の活用支援【スマホ・タブレット等利用促進】

(8) 地域社会への貢献

地域社会との連携を図り、地域社会の福祉と活性化に貢献し、地域から必要とされるセンターを目指して取り組みます。ボランティア要請にも積極的に対応します。

- ① 奉仕活動の展開
- ② 地域ニーズ把握
- ③ 地域社会との連携

令和6年度 公益社団法人守山市シルバー人材センター収支予算書
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受託事業収益	359,167,066	293,972,233	65,194,833	
受取配分金	290,000,000	241,000,000	49,000,000	
受取材料費等	23,700,000	18,700,000	5,000,000	
受取事務費	34,800,000	24,100,000	10,700,000	事務費12%
指定管理料収入	5,841,000	5,841,000	0	ワークプラザ・芦刈園指定管理料
施設利用料収入	4,300,000	4,100,000	200,000	芦刈園入園料
あじさいフェア開催収入	476,066	181,233	294,833	芦刈園あじさい花苗等
その他収入	50,000	50,000	0	
労働者派遣事業等受託収益	8,640,000	6,480,000	2,160,000	
労働者派遣事業等受託収益	8,640,000	6,480,000	2,160,000	労働者派遣事業事務費
受取会費	1,755,000	1,755,000	0	
正会員受取会費	1,755,000	1,755,000	0	
受取補助金等	28,120,000	28,120,000	0	
受取連合交付金	14,060,000	14,060,000	0	連合会から交付される国庫補助金
受取市(区)町村補助金	14,060,000	14,060,000	0	守山市から交付される補助金
受取負担金	6,400	3,200	3,200	
受取負担金	6,400	3,200	3,200	役員賠償責任保険負担分
特定資産運用益	5,000	5,000	0	
特定資産受取利息	5,000	5,000	0	積立金の預金利息
雑収益	13,000	13,000	0	
受取利息	3,000	3,000	0	普通預金の利息
雑収益	10,000	10,000	0	その他の雑収入
経常収益計	397,706,466	330,348,433	67,358,033	
(2) 経常費用				
事業費	395,365,212	327,122,413	68,242,799	
支払配分金	296,270,000	247,270,000	49,000,000	
支払材料費等	24,700,000	19,700,000	5,000,000	
役員報酬	361,250	888,050	△ 526,800	役員の各部会他出席手当
給料手当	34,767,982	25,434,172	9,333,810	給与・諸手当・期末勤勉手当
臨時雇賃金	0	2,022,000	△ 2,022,000	臨時職員
法定福利費	5,687,294	4,175,411	1,511,883	社会保険料等
退職給付費用	1,798,136	1,150,276	647,860	退職給付積立・確定給付企業年金保険料
福利厚生費	175,090	133,890	41,200	職員健康診断等
会議費	106,000	158,000	△ 52,000	会議等のお茶代
役員等旅費交通費	152,800	343,800	△ 191,000	各種部会旅費等
旅費交通費	168,000	48,000	120,000	役員旅費
通信運搬費	1,361,210	1,586,615	△ 225,405	郵便・電話等
什器備品費	1,265,000	1,065,000	200,000	作業用機械・安全対策用備品等
消耗品費	1,984,208	1,965,200	19,008	月刊シルバー・各種事務用品等
修繕費	1,150,000	670,000	480,000	作業用機械用具・車両修繕
印刷製本費	1,081,500	1,224,000	△ 142,500	啓発パンフレット・書類・伝票等
光熱水料費	1,307,764	2,204,820	△ 897,056	電気・ガス・水道代
賃借料	4,373,593	3,724,985	648,608	OAシステム・コピー・軽トラ等リース料
保険料	3,682,281	3,418,956	263,325	会員傷害・賠償保険料・車両保険
諸謝金	727,500	727,500	0	講師謝金、役員以外の各部会他出席手当
租税公課	4,855,000	784,200	4,070,800	印紙税・消費税
支払負担金	15,000	15,000	0	安全運転管理者講習
組織活動助成費	814,000	814,000	0	地域班・隣群班運営及び活動助成
委託費	8,125,271	6,969,614	1,155,657	OAシステム
研修費	81,000	81,000	0	テキスト等
支払手数料	147,833	152,924	△ 5,091	振込手数料等
支払利息	187,500	375,000	△ 187,500	借入金利息
雑費	20,000	20,000	0	手土産等

報告第3号 令和6年度収支予算について

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
管理費	4,841,254	3,226,020	1,615,234	法人運営に必要な経費
役員報酬	1,157,000	630,200	526,800	総会・理事会等役員報酬
給料手当	809,102	798,353	10,749	法人運営に必要な給料手当
法定福利費	133,557	132,023	1,534	法人運営に必要な法定福利費
退職給付費用	48,766	37,542	11,224	法人運営に必要な退職給付費用
福利厚生費	1,810	1,810	△ 0	法人運営に必要な福利厚生費
会議費	28,000	28,000	0	総会・理事会お茶代
役員等旅費交通費	39,260	30,740	8,520	総会・理事会等費用弁償
旅費交通費	34,900	34,900	0	法人運営に必要な旅費交通費
通信運搬費	69,860	71,255	△ 1,395	総会・理事会通知切手・電話
減価償却費	700,000	0	700,000	法人運営に必要な減価償却費
消耗品費	36,792	37,800	△ 1,008	総会・理事会資料用事務用品等
印刷製本費	187,000	136,000	51,000	総会議案書
光熱水料費	74,733	149,481	△ 74,748	法人運営に必要な光熱水費
賃借料	205,951	220,270	△ 14,319	総会会場借上料・複合機・印刷機
保険料	61,789	35,814	25,975	役員賠償責任保険
諸謝金	108,900	108,900	0	法人運営に必要な諸謝金
租税公課	380,000	55,800	324,200	法人運営に必要な租税公課
支払負担金	333,000	333,000	0	全シ協・近シ協・県シ連等年会費
委託費	427,220	380,626	46,594	顧問税理士料等
支払手数料	3,614	3,506	108	証明書発行手数料
経常費用計	400,206,466	330,348,433	69,858,033	
当期経常増減額	△ 2,500,000	0	△ 2,500,000	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 2,500,000	0	△ 2,500,000	
一般正味財産期首残高	28,541,963	24,011,928	4,530,035	
一般正味財産期末残高	26,041,963	24,011,928	2,030,035	
Ⅱ 指定正味財産増減の部			0	
受取補助金等			0	
一般正味財産への振替額			0	
当期指定正味財産増減額			0	
指定正味財産期首残高			0	
指定正味財産期末残高			0	
Ⅲ 正味財産期末残高	26,041,963	24,011,928	2,030,035	

令和6年度収支予算書に係る注記

1. 投資活動及び財務活動に関する見込

(単位：円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
【投資活動収支の部】				
(投資活動収入)				
特定資産取崩収入	0	0	0	
退職給付引当資産取崩収入	0	0	0	
減価償却引当資産取崩収入	0	0	0	
財政運営資金資産取崩収入	0	0	0	
投資活動収入計	0	0	0	
(投資活動支出)				
固定資産取得支出	0	0	0	
什器備品購入支出	0	0	0	
特定資産取得支出	391,498	0	391,498	
退職給付引当資産取得支出	391,498	0	391,498	退職金積立
減価償却引当資産取得支出	0	0	0	
財政運営資金資産取得支出	0	0	0	
投資活動支出計	391,498	0	391,498	
【財務活動収支の部】				
(財務活動収入)				
借入金収入	20,000,000	20,000,000	0	
短期借入金収入	20,000,000	20,000,000	0	
財務活動収入計	20,000,000	20,000,000	0	
(財務活動支出)				
借入金返済支出	20,000,000	20,000,000	0	
短期借入金返済支出	20,000,000	20,000,000	0	
財務活動支出計	20,000,000	20,000,000	0	

2. 借入金限度額

短期借入金限度額は20,000,000円とする。

3. 債務負担額

液晶一体型パソコン、プリンターの5年間リースにより

2023年度(令和5)年度	398,960円
2024年度(令和6)年度	583,440円
2025年度(令和7)年度	583,440円
2026年度(令和8)年度	583,440円
2027年度(令和9)年度	583,440円
2028年度(令和10)年度	194,480円
計	2,917,200円

軽貨物車(滋賀480さ1735)の4年間リースにより

2021(令和3)年度	157,300円
2022(令和4)年度	171,600円
2023(令和5)年度	171,600円
2024(令和6)年度	171,600円
2025(令和7)年度	14,300円
計	686,400円

電子複写機(RICOH IMC3510)の5年間リースにより

2023年度(令和5)年度	246,180円
2024年度(令和6)年度	246,180円
2025年度(令和7)年度	246,180円
2026年度(令和8)年度	246,180円
2027年度(令和9)年度	246,180円
計	1,230,900円

軽貨物車(滋賀480さ1736)の4年間リースにより

2021(令和3)年度	157,300円
2022(令和4)年度	171,600円
2023(令和5)年度	171,600円
2024(令和6)年度	171,600円
2025(令和7)年度	14,300円
計	686,400円

リノグラフ印刷機(FW5230)の7年間リースにより

2018(平成30)年度	200,880円
2019年度	602,640円
2020(令和2)年度	602,640円
2021(令和3)年度	602,640円
2022(令和4)年度	602,640円
2023(令和5)年度	602,640円
2024(令和6)年度	602,640円
2025(令和7)年度	401,760円
計	4,218,480円

軽貨物車(滋賀480す8287)の5年間のリースにより

2019年度	32,780円
2020(令和2)年度	196,680円
2021(令和3)年度	196,680円
2022(令和4)年度	196,680円
2023(令和5)年度	196,680円
2024(令和6)年度	163,900円
計	983,400円

ビジネスフォン(ET-Si/LA主要置他)の6年間リースにより

2021(令和3)年度	97,680円
2022(令和4)年度	293,040円
2023(令和5)年度	293,040円
2024(令和6)年度	293,040円
2025(令和7)年度	293,040円
2026(令和8)年度	293,040円
2027(令和9)年度	195,360円
計	1,758,240円

軽貨物車(滋賀480モ6969)の2年間リースにより

2024(令和6)年度	158,400円
2025(令和7)年度	158,400円
計	316,800円

軽貨物車(滋賀480ち3966)の2年間リースにより

2024年度(令和6)年度	217,800円
2025年度(令和7)年度	217,800円
計	435,600円

軽貨物車(滋賀480た6376)の3年間リースにより

2023年度(令和5)年度	211,750円
2024年度(令和6)年度	231,000円
2025年度(令和7)年度	231,000円
2026年度(令和8)年度	19,250円
計	693,000円

軽貨物車(滋賀480て8625)の6年間リースにより

2022(令和4)年度	242,880円
2023(令和5)年度	242,880円
2024(令和6)年度	242,880円
2025(令和7)年度	242,880円
2026(令和8)年度	242,880円
2027(令和9)年度	242,880円
計	1,457,280円

軽貨物車(滋賀480た7767)の2年間リースにより

2023年度(令和5)年度	178,200円
2024年度(令和6)年度	237,600円
2025年度(令和7)年度	59,400円
計	475,200円

軽貨物車(滋賀480と9562)の6年間リースにより

2023年度(令和5)年度	139,370円
2024年度(令和6)年度	238,920円
2025年度(令和7)年度	238,920円
2026年度(令和8)年度	238,920円
2027年度(令和9)年度	238,920円
2028年度(令和10)年度	238,920円
2029年度(令和11)年度	99,550円
計	1,433,520円

4. 収支予算書を上回って支出する特例

配分金・材料費等収入の増加に連動する支出(配分金、材料費等支出)に限り、予算額を越えて執行することができる。

令和6年度 被表彰者一覧

◎ 表彰要綱 第2条(1) 該当者

理事長として、通算6年以上在職し、事業運営に貢献のあった方

守山班 山中 憲造

◎ 表彰要綱 第2条(2) 該当者

会員として15年以上在籍し、就業実績があり、かつ業務に精励して事業活動に貢献のあった方

守山班 山中 憲造

守山班 中井戸 正弘

守山班 水島 たず子

守山班 西村 節子

守山班 舟橋 伸江

吉身班 大塚 豊

吉身班 沢田 和義

吉身班 吉田 育夫

小津班 矢野 文雄

玉津班 櫻木 薫

玉津班 樋口 明

玉津班 西出 紀一

速野班 伊賀 正純

速野班 北川 佳二

◎ 表彰要綱 第2条(4) 該当者

自分の持つ技能を発揮し就業活動を通しセンターの評価を高めた方および後継者の育成や就業開拓等に貢献のあった方

守山班 殿川 秀子

吉身班 東 久代

小津班 山本 もと江

玉津班 岩田 正彦

河西班 川島 千鶴子

速野班 西條 美也子

小津班 矢野 文雄

機械刈班 丈達 貞夫(中洲)

◎感謝状 ほんのほのハウス開設にあたり店舗を好条件にて提供いただき、15年にわたり会員の活動拠点の運営に協力をいただいた。

吉身二丁目 藪田 茂

安全宣言

公益社団法人守山市シルバー人材センターは、「安全はすべてに優先する」という基本方針に基づき、組織一丸となって、事故ゼロを目指し、安全就業に努めることを、ここに、宣言します。

- 1 危険または有害な作業を内容とする業務は行いません。
- 1 事故の防止のために必要な知識・技能の情報を共有・活用します。
- 1 事故の情報を共有・分析し、再発防止を徹底します。
- 1 会員は、自ら日常の健康管理に十分留意し、健康の増進に努めます。
- 1 会員は、就業開始にあたっては、自ら安全に作業するための確認を行います。
- 1 会員一人ひとりが、シルバー人材センターを代表していることを自覚し、責任ある行動をとります。

公益社団法人守山市シルバー人材センター